

クリーンピア千曲No.42

～未来のために のこそう きれいな千曲川～

水処理施設(第5系列)の 建設工事が始まりました



クリーンピア千曲では、下水道の普及とともに、年々増加する流入水に対応するため、水処理施設の増設工事が始まりました。

この水処理施設(第5系列)が完成すると今までの1日64,000m³から処理能力が向上して1日に80,000m³の下水を処理することが可能となります。

電気設備や機械設備など全ての工事が完成するのは平成23年3月の予定です。

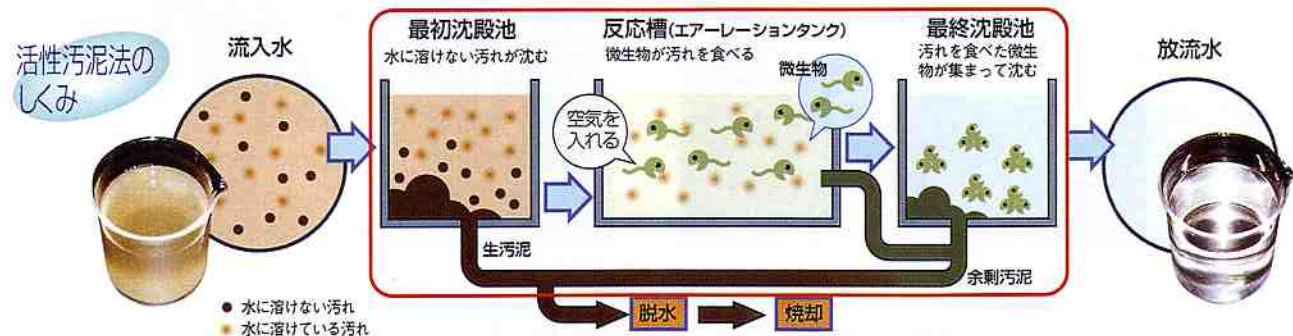
ここを造っているんだよ!



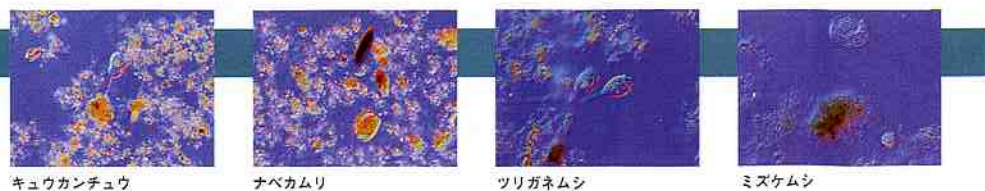
長野県下水道キャラクター「ケロビー」

下水をどのようにきれいにしているの?

目では見えないような小さな微生物(活性汚泥)が汚れの原因となっている有機物を食べて、きれいにしています。この方法を活性汚泥法といいます。



水をきれいにする微生物



クリーンピア千曲まつりが 盛大に開催されました!!

9月8日(土)、長野県下水道公社千曲川下流管理事務所(愛称:クリーンピア千曲)において晴天にも恵まれ1,500人の方々にお出かけいただきました。この催しは、9月10日が下水道の日と定められていることに因み、上流管理事務所(愛称:アクアパル千曲)と毎年交互に実施しています。

まつりでは顕微鏡による微生物観察、処理場内見学による汚水の浄化過程の観察、水洗化相談などで処理場業務や下水道への接続の重要性などを学んでいただきました。お楽しみとしては、児童や愛好家による和太鼓・舞踊・演奏、物品販売、ゲームコーナー、フリーマーケット、恒例の市町村提供による諸施設無料入場券等の配付がありました。

今年は、アクアパル千曲で行う予定ですので是非おでかけいただき、ご家族・仲間と楽しみながら下水道にご理解とご協力をお願いします。



水の研究室も!!

水の研究室は、小学生の子供たちに、下水道や水環境についての理解を深めていただくため、毎年、夏休み期間中に1回、1日間開催しています。

内容は、子供たちが自分で水の汚れを調べたり、顕微鏡

を使って微生物の観察をします。また、通常の見学コースにはない施設の見学もあり、普段はできない貴重な体験が可能です。

募集の案内は、6月末に管内の小学校や市町村に配布します。また、長野県下水道公社のホームページにも掲載します。

夏休みの自由研究の参考となる内容が盛りだくさんですので、ぜひ、ご参加をいただくようお待ちしております。

千曲川流域下水道の緊急時対応訓練 その2



止水プラグ



管内調査用TVカメラ

応急時実施訓練!!

7月11日(水)実施の研修会に引き続き、災害に即対応するため、9月28日(金)「下水道危機管理実務研修会」が須坂市小島地籍で千曲川流域下水道事業に係る職員(長野市・須坂市・千曲市・坂城町・小布施町・高山村/長野県千曲川流域下水道建設事務所/長野県下水道公社)の出席で開催されました。

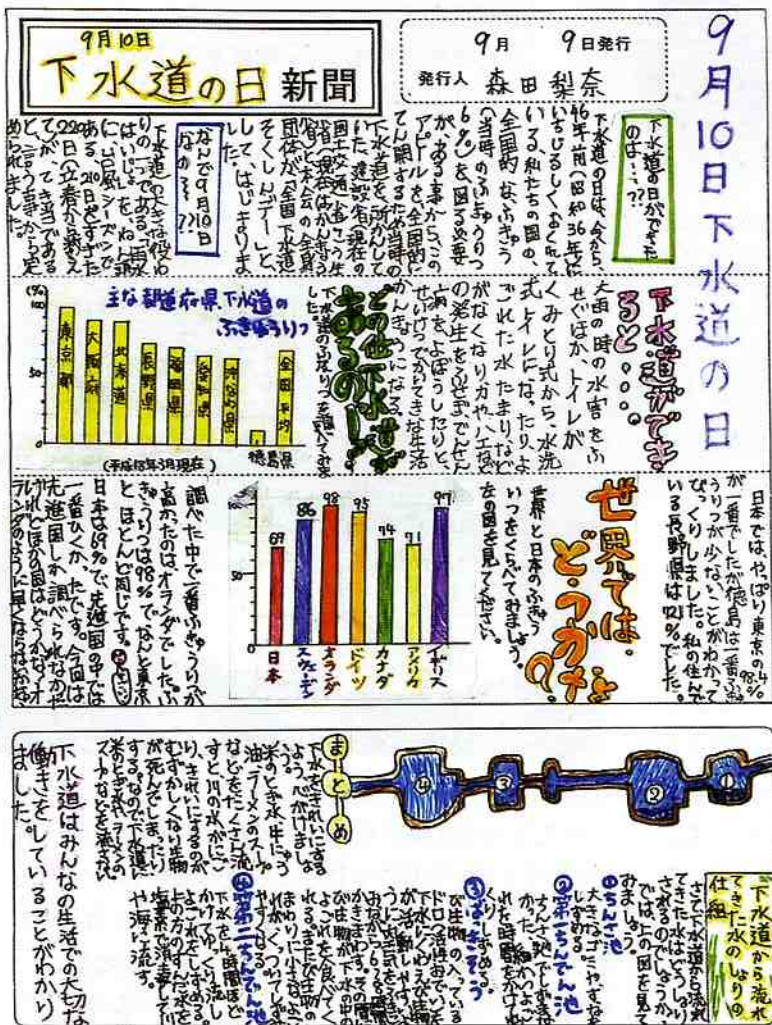
およそ3時間にわたり、止水プラグの使用方法及び実演/

高圧リフトエアバッグ(災害救助用品)の使用方法及び実演/最新型土嚢袋の使用方法及び実演/調査用TVカメラの操作及び高圧洗浄・吸引作業等実演を(社)日本下水道管路管理業協会中部支部長野県部会の方を講師にお招きし実技の訓練を行いました。主催は、長野県千曲川流域下水道建設事務所及び流域市町村で構成する下水道促進協議会です。

「長野県下水道新聞コンクール2007」の優秀作品をご紹介します。

今年2月、下水道の啓発・理解をすすめる、長野県下水道普及促進実行委員会主催の「長野県下水道新聞コンクール2007」の入賞作品の発表があり、千曲川流域下水道事業関係では、多くの作品の中から下水道の理解が優れていることで優秀賞を豊野西小学校の、森田 梨奈さんが受賞されました。

今年も行なわれますので、皆さんも(小学4年生対象)応募して、下水道・環境などに関心を深めてください。



優秀賞 豊野西小学校 森田 梨奈さん

長野県の新たな
ロゴ・キャッチフレーズ
が決定しました!



[最優秀賞] キャッチフレーズ
つらなる つながる 信州
伊藤 実さん (飯田市)
[最優秀賞] ロゴマーク
佐々木満さん (秋田市)

「つらなる つながる 信州」には、「日本の屋根」と呼ばれる雄大な山々に代表される自然の豊かさと、8県と境を接する交流の要という地理的条件を生かし、人と人の絆、地域と地域のつながりを大切にし、県外や海外にも開かれた意識を持ちながら、県民の知恵と力を結集して「活力にあふれ安心して暮らせる魅力ある長野県」をつくってきたいとの思いが込められています。

長野県ロゴ・キャッチフレーズの使用について

今後、県の各種印刷物、名刺、封筒等に使用するとともに、県内の市町村や各種団体、事業者が印刷、製造、販売する各種印刷物、商品等にも使用できるものとし、県のイメージアップを図るために広く活用してまいります。

[書類の提出先・お問い合わせ先]
〒380-8570 (住所の記載は不要)
長野県企画局企画課ブランド推進係
Tel 026-235-7024 (直通)
Fax 026-235-7471
電子メール kikaku@pref.nagano.jp

お知らせ

下水道へご理解を深めていただくため作成しました啓発資料の残りわずかですが希望者にお譲りします。
平成18年(2006年)作成の「すごろく」(19部)、
平成19年(2007年)作成の「ふくわらい」(11部)です。
ご家族皆で団欒しながら下水道のことをお考えください。

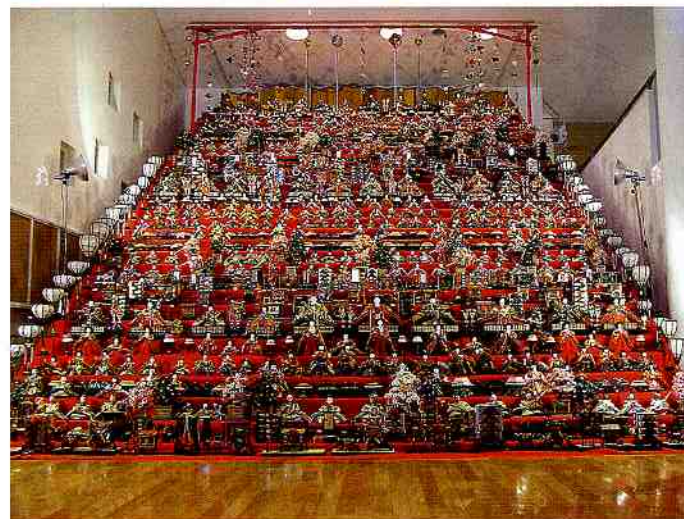
●申し込み先 (無料でお送りします。)
〒380-0917
長野市大字稲葉字八幡田沖2413-11
長野県千曲川流域下水道建設事務所
電話:026-224-3652 ファクシミリ:026-224-1263
E-mail:chikumagawaryuiki@pref.nagano.jp

ふるさと紹介

第40回

須坂市

ぶらり須坂の雛めぐり



30段飾りと千体の雛祭り
高さ6m、30段の「雛人形」と「つり雛」約100本、豪華絢爛 約1,000体の人形が皆様をお迎えします。

須坂市では3月3日(月)~4月3日(木)まで「信州須坂の町の雛祭り」を開催しています。須坂の町には古くから大切に受け継がれてきたお雛様があり、それらを多くの方に見ていただくとうと6年前から始まった企画で、期間中は商店や美術館、博物館にお雛様が展示公開されます。その数なんと135箇所!!なかでも見ごたえのある雛飾りは、「世界民俗人形博物館」で展示されている「30段雛飾り」で、日本最大級とされるこの雛飾りの大きさは圧巻です。また、今年は同館のとなりの「須坂版画美術館」でも雛展示をご覧いただくことができます。こちらはなんと!ピラミッド型?のような雛飾りがお目見えます。

須坂の町を散策しながら、懐かしいお雛様をごゆっくりと御覧ください。

●問合せ先/ 信州須坂の町の雛祭り実行委員会 TEL026-215-2225(須坂市観光協会)

千曲川にすむ魚たち

第21回

シナユキマス

シナユキマスは新しい養殖魚として昭和50~58年に水産試験場が当時のソ連やチェコスロバキアから導入した魚です。写真のように銀白色に輝ききれいな魚なので英名で Whitefish (ホワイトフィッシュ)、一般にはコレゴマスと呼ばれています。

シナユキマスという名は、昭和58年に当時の吉村午良長野県知事が、信州に新たな魚として仲間入りしたコレゴマスの白銀色を雪のイメージに結びつけて命名したものです。本来は北米大陸、中部ヨーロッパ、ロシア等の湖沼や大河に生息する魚で、群れで回遊するおとなしい性格の魚です。天然での食性は主に動物プランクトンやユスリカ幼虫等の底生動物ですが、配合飼料で育てる養殖魚の場合、満3年で450~800gに成長し産卵します。

日本にはこれまで8種類のユキマスの仲間が導入されましたが、人工採卵と稚魚の大量生産にいち早く成功したのは長野県が最初でした。これは千曲川の水温(冬~夏:1~20℃)



がユキマスの養殖と産卵に適していたためです。
佐久支場では毎年12月に2000万粒を採卵し、人工授精をしています。2~3月にふ化した稚魚は配合飼料で大切に育てられ養殖魚として出荷される他に釣魚として放流されています。信州新町の柳久保池、大町市の青木湖の他、北相木・南相木村の加和志湖や立岩湖では冬期の氷の穴釣り対象としてワカサギとともに釣り人に人気があります。

[水産試験場佐久支場]

発行/クリーンピア千曲ニュース編集委員会

●長野県千曲川流域下水道建設事務所
〒380-0917 長野市大字稲葉字八幡田沖2413-11
TEL224-3652 FAX224-1263
E-メール:chikumagawaryuiki@pref.nagano.jp
●(財)長野県下水道公社千曲川下流管理事務所
〒381-0001 長野市大字赤沼字申高2455
TEL257-4000 FAX257-4428
E-メール:cleanpia@npspc.or.jp

●長野市(水道局業務課) TEL226-4911
●須坂市(上下水道課) TEL245-1400
●小布施町(建設水道グループ) TEL247-3111
●高山村(建設水道課) TEL245-1100

印刷/ 有限会社 エヌピー・ニシキ